【経済】

・ザンビアの国債市場が成長

2024年第4四半期の国債市場は、長期国債取引の顕著な増加を示した(Daily Mail 2月5日)。

・政府、対外・国内債務返済に 38 億 ZMW を支出

政府は、対外及び国内債務返済に38億ZMWを支出した。その内訳は、国内債務30億ZMW、対外債務4億5,960万ZMW及び滞納3億3,500万ZMWであった(Times of Zambia 2月10日)。

・新紙幣及び硬貨の導入

ザンビア中央銀行(中銀)は、2025年3月31日から新しい500ZMW、200ZMW、100ZMW、50ZMW、20ZMW及び10ZMWの紙幣、並びに5ZMW、2ZMW、1ZMW、50N、10N及び5Nの硬貨を導入する(Times of Zambia 2月12日)。

・中銀、政策金利を 14.5% に上方修正

中銀は、政策金利を0.5%上げ、14.5%とすることを発表した。2024年第4四半期のインフレ率は16.3%であり第3四半期から0.8%上昇した(Times of Zambia 2月13日)。

・中銀、第4四半期に外貨流入増

2024年第4四半期の外貨供給は、前期と比較して6,010万米ドル増加して5億2,620万米ドルを記録した。鉱業セクターが主要貢献部門である(Daily Mail 2月14日)。

・ザンビア開発庁、国際投資会議を主催予定

ザンビア開発庁は、7月に「合併事業とパートナーシップを通じた世代を超えた変革的投資の促進」をテーマにした国際投資会議を開催する(Daily Mail 2月17日)。

・ルサカ証券取引所、取引の増加

ルサカ証券取引所では、昨年(2024年)の総取引高が167,455,320株となり、取引の大幅増を記録した。31,855件の取引から1,120,362,331ZMWの取引高となり、その内訳は、Pamodzi社が売上高で市場をリードし40.95%を占め、次いでCopperbelt Energy Corporationが33.61%、Airtelが10.73%を占めた(Times of Zambia 2月28日)。

【エネルギー】

・エネルギー規制委員会、ザンビア電力公社(ZESCO)の緊急電気料金値上げを3か月延長

エネルギー規制委員会(ERB)は、ザンビアの継続的かつ厳しい電力不足に対応するため、緊急電気料金値上げを2025年2月1日から更に3か月延長した(Times of Zambia 2月2日)。

・ZESCO、336億ZMWの損失

監査報告書は、国営企業や法定機関の会計に関し、ZESCOが2023年に336億ZMW以上の損失を出したことを明らかにした。その原因は、ZESCOの売上原価が2021年の99億から261億に上がったため(Times of Zambia 2月10日)。

・Serenje Energy Corporation、太陽光発

電所に1億2,500万米ドルの投資

投資に適したエネルギー政策を推進する現政権下で、Serenje Energy Corporationは、1億2,500万米ドルをLusakaとNdolaでの125MWの太陽光発電事業に投資している(Daily Mail 2月11日)。

・カリバ・ダム水位、安定的に上昇

カリバ・ダムの水位は、昨年比では依然として低いが、降雨増により安定的に上昇している。2月24日時点で水量は52億8,000万立方メートル(発電使用可能水量の8.16%)で、昨年同時期は102億7,000万立方メートル(発電使用可能水量の15.85%)であった(Times of Zambia 2月25日)。

・ZESCOに対する水配分量増える

Zambia River Authorityは、ZESCO及びZimbabwe Power Companyに対する水の配分量を昨年の160億立方メートルから今年は270億立方メートルに増やすとし、来月からの計画停電時間の短縮が期待される(Daily Mail 2月28日)。

【鉱業】

・銅輸出、2.8%上昇

精銅の輸出は、2024年は80万2,000MTと前年比で2.8%上昇した。(Daily Mail 2月3日)。

・Vedanta、ザンビアの銅採掘に投資する10億米ドルと求める

Vedanta Resources Ltd.は、コンコラ銅鉱山(KCM)の開発に、約10億米ドルの負債性資金(debt financing)を調達しようとしている(Times of Zambia 2月10日)。

・12億米ドルを投じたFQMのS3事業、

62%完成

北西部州SolweziのKansanshi Mineにおける12億米ドルを投じたS3拡張事業は、62%が完成しており、今年6月までの運営開始を目指す(Daily Mail 2月14日)。

・Mimbula、銅陰極工場に2億5,000万米ドルを至便

コッパーベルト州ChingolaのMimbula Minerals Ltd.は、年間6万トンの鉱物を生産することが可能な銅陰極工場の設立に2億5,000万米ドルを投資してきた。同工場は、来年完成し、更に200名の地域住民が雇用される予定(Daily Mail 2月17日)。

・Barrick Gold、第4四半期増産

Barrick Goldは、2024年第4四半期、金生産が15%、銅生産が33%上昇し、好成績を残した(Daily Mail 2月17日)。

・2025年、銅生産量95万MTを予想

ムソコトワネ財務・国家計画大臣は、2025年の銅生産は、2024年の82万MTを超え95万MTを達成すると予測した(Daily Mail 2月22日)。

・Sino Metals、閉鎖

政府は、中国のSino Metalsの鉱滓格納施設が故障し、酸性廃液がKafue川の支流であるMwambashi川に放出されたことを受け、同社の施設を閉鎖した(Times of Zambia 2月22日)。

・鉱物使用税(Mineral Royalty Tax)存続

ムソコトワネ財務・国家計画大臣は、政府は宝石の輸出税は撤廃したが、鉱業部門におけるその他の税は維持するとした(Daily Mail 2月24日)。

・鉱夫、15%の宝石輸出税の一時停止

を歓迎

零細採掘業者は、鉱業セクターに悪影響となり得る 15%の宝石輸出税の一時停止を歓迎した。この輸出税は、2019年に停止されたが 2025年1月から再導入されていた(Daily Mail 2月28日)。

【貿易】

・2024年の輸出額、2,939億 ZMW を記録

ザンビア統計局は、2024年の輸出総額が 2,939億 ZMW に増加したと発表。その輸送手段は 92.8%が道路輸送、3.7%が空輸、1.1%が鉄道輸送であった(Times of Zambia 2月3日)。

・ザンビア、アフリカ大陸自由貿易圏の下での貿易の準備を完了

ザンビアは、アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)設置協定に基づく暫定関税譲許表を官報告示し、同協定に基づく貿易への道筋を立てた(Daily Mail 2月20日)。

・ザンビア産アボカド、南ア市場に参入

南ア及びザンビアの二国間交渉が終結し、ザンビア産アボカドの生産者は、南アに生のアボカドを輸出できるようになった(Daily Mail 2月21日)。

【ビジネス】

・Chibombo 複合的経済特区で、4月にも銅ケーブル生産開始

中央州 Chibombo にある Jiangzi Copper Zambia Optoelectronics Company Ltd.の銅ケーブル生産は、今年4月に商業化される予定。年間生産量は、1億2,000万米ドル以上で、500名以上の地元雇

用が創出される(Times of Zambia 2月3日)。

・資本市場、Shoprite 及び Chilanga Cement が好収益を記録

2024年の第4四半期における資本市場は、Shoprite 及び Chilanga Cement が利益を上げた一方で、Standard Chartered 及び Copperbelt Energy Corporation は、利益の減少を記録した(Daily Mail 2月6日)。

・ドバイ企業、ザンビアに3億米ドルの投資

UAE の多国籍運輸企業である Dubai Port World は、ザンビアでの3億米ドルの投資を発表した。これは、Zambia Cargo 及び Logistics Ltd との官民連携(PPP)を通じた投資であり、最初に5,000万米ドルが投入される(Times of Zambia 2月13日)。

・中国企業、キャッサバ加工工場に1,800万米ドルの投資

中国の ZhongKai International Ltd は、コッパーベルト州 Luanshya に、1,800万米ドルを投じて、燃料に混合するエタノールを生産するキャッサバ加工工場を設立する。この工場の設立により350名の雇用が創出され5万世帯が裨益する(Times of Zambia 2月13日)。

・エスワティニ航空、ザンビアに就航

エスワティニ航空は、エスワティニの King Mswati III International Airport とルサカの Kenneth Kaunda International Airport を結ぶ新航路を計画していることを明らかにした(Daily Mail 2月25日)。

・Zamtel、財政的に回復

Zamtel は、Zambia Revenue Authority や

National Pension Scheme Authority 等の主要組織に対して2012年からの滞納債務12億ZMW以上を完済した(Daily Mail 2月28日)。

【対外関係】

・イスラエル国、大使館を開設

イスラエル国は、ザンビアで大使館を開設する意向を示し、ザンビアの外務・国際協力大臣はこれを歓迎した(Daily Mail 2月1日)。

・ドイツ、Chomaの水事業に400万ユーロを投入

ドイツのFederal Institute for Geosciences and Natural Resourcesは、Choma郡で400万ユーロを投じた気候耐性を促進する地下水運営に特化した4年間の事業を実施する(Daily Mail 2月14日)。

・中国、ザンビアに1,870トンの米を供与

中国政府は、ザンビアに干ばつ対策として1,870トンの米を供与し、北京で行われた中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)での「10のパートナーシップ行動」の約束を果たした(Times of Zambia 2月22日)。

・政府及びJICA、10万米ドルで中小企業5社を支援

政府は、JICAと協力し、製造業及び農業セクターの中小企業5社(Mupapa Wood、Travium Enterprises、Bwikalo、Sabs Agro及びSucculent Brands)に対し、それぞれ2万米ドル相当を支援する(Times of Zambia 2月28日)。

【その他】

・人権状況、改善を記録

国連の表現と意見の自由に対する権利に関する特別報告者は、2021年の現政権発足以降ザンビアの人権状況に大きな改善を確認したとした(Times of Zambia 2月1日)。

・ザンビア、第3回観光サミットを主催へ

観光省は、4月7日から9日に、ルサカで第3回旅行・ホスピタリティ・観光教育サミットを主催する(Daily Mail 2月11日)。

・観光客、35%増加

国外からの観光客は、2023年の139万人から2024年220万人に35.3%の増加を記録した(Daily Mail 2月14日)。

・移動裁判開始

司法当局は、1年間の移動法廷試行事業を開始した。この事業では、移送者を裁判所まで運ぶという通常の手続きではなく、移送者が収容されている施設で審理が行われる(Times of Zambia 2月21日)。

・「ザンビアとタンザニアは、安全保障を強化すべき」

ハマウンドゥ国防長官は、ザンビア・タンザニア国防・安全保障合同常設委員会第3回会合で、タンザニア・ザンビアの国境での薬物等の密輸、人身売買及び違法移民等の国境を越えた多様な犯罪が発生しており、両国は安全保障上重大な課題に直面しているとした(Times of Zambia 2月25日)。

(了)